

農地利用最適化推進委員候補者として募集に応募した者の名簿

応募

募 集 に 応 募 す る 者									
氏 名	応募する地域	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況		応 募 理 由 ・ 抱 負
					年月日	経歴・職歴・公職歴 ・団体の役職歴	主要な 作物等	面積等	
福永 俊介	谷山地域	男	39	会社員	R6.4～ R6.4～ R6.4～	星ヶ峯ニュータウン町内会長 星峯中学校PTA副会長 五ヶ別府保全隊	—	—	実家近くの福永さんが長く農業委員をされていて私も今は実家手伝いではありますが、農業にたずさわる事になりますので勉強をして、地域の皆様のお役に立てればなと思い応募しました。年配の方が多いので、色々考え方など勉強させてもらい、農地等の利用の最適化の為に農業推進委員として頑張っていきたいです。
満吉 秀巳	中央地域 谷山地域 伊敷地域 吉野地域 吉田地域 桜島地域 松元地域 郡山地域	男	70	団体職員	S50.3 S51.4～H24.3 H24.4～H27.4 H27.5～	東海大学卒業 鹿児島県土地改良事業団体連合会 ・会員支援室地域支援課長兼土地改良区対策センター長 ・管理部地域支援課長 ・管理部次長 ・大隅事務所所長 鹿児島市道路管理課地籍調査係 鹿児島県土地改良事業団体連合会地域支援課	水稻	自作地0.5 アール	1番の関心事は優良農地を守るのは当然ですが、遊休農用地耕作放棄地の解消であり、これから先、農地の再整備造成等は難しいと考えています。耕作条件を整えたとしても農業者の定着が進まない状況が見受けられます。既存の農業・農地を守るためには、私は農業を守るためには当該農業集落を守ることがとても大事なことだと思っています。農業集落が元気であれば農業は守れる。それが持論です。これまで土地改良事業団体での経験から培われたものです。そのような事から農業の最終兵器である地域を巻き込んだ多面的機能支払交付金等（農地中間管理機構・中山間地域等直接支払）の経験を活かし、耕作放棄地、遊休農地の解消等を含め得意分野を活かして委員として貢献したいと考えて応募致しました。
尾花 創史	中央地域 谷山地域 伊敷地域 吉野地域 吉田地域 桜島地域 喜入地域 松元地域 郡山地域	男	47	団体職員	H21.3 H21.4～H25.8 H25.9～H28.3 H28.4～H31.3 H31.4～ H30.4～R3.3 R4.12～R6.2 R4.4～R6.3 R4.5～R6.4 R6.4～	久留米大学大学院法務研究科修了 JAあいら (株)豊和銀行 湧水町商工会 公益財団法人鹿児島県住宅・建築総合センター 現在、課長補佐 霧島市男女共同参画審議会委員（2期） 民生委員・児童委員（1期） 霧島市立国分西小学校PTA副会長（1期） 霧島市農地利用最適化推進委員（1期） 鹿児島県立武岡台特別支援学校PTA理事	—	—	霧島市で農地利用最適化推進委員を1期3年務めさせていただき、推進委員として、国分重久・清水地域といった国分でも農業が盛んな地域を中心に業務を行ってきたことから、そこで培った経験や知識を鹿児島市でも活かしてみたいと考え、応募させていただきました。 鹿児島市の推進委員の業務はこれからですが、霧島市での経験を活かして頑張っていきたいと考えております。何卒よろしくお願いします。
川原 勝徳	谷山地域	男	74	農業	S44.3 S44.4～S51.10 S52.4～H23.10 H23.11～ H23.4～H27.3 H23.4～ R1.5～	鹿児島実業高校卒業 除川建設（東京） 調理師 （岩崎谷荘、ホテルニューカゴシマ、サンロイヤルホテル他） 就農 玉利町内会長 JA鹿児島みらい農業協同組合玉利地区総代 鹿児島市農地利用最適化推進委員	露地野菜・施設 野菜・果樹	自作地20 アール	農地最適化推進委員に委嘱を受けた際は地域計画の推進と遊休農地や耕作放置農地の解消を他の委員と協力して健全な農地利用を進めて行きたいです。

農地利用最適化推進委員候補者として募集に応募した者の名簿

応募

募 集 に 応 募 す る 者									
氏 名	応募する地域	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況		応 募 理 由 ・ 抱 負
					年月日	経歴・職歴・公職歴 ・団体の役職歴	主要な 作物等	面積等	
帖地 美宏	喜入地域	男	64	農業	S56.3 S56.8～S58.12 S59.9～R3.3 R3.4～	九州理工専門学校土木工学科卒業 三州技術コンサルタント(株) 喜入町役場～鹿児島市役所(内農林関係15年) 就農	水稻・露地野菜	自作地50 アール	喜入地域における農地の現状を把握し、農地の貸し借りや農業への関心を深め、農地を守り農業を次の世代へつないでいくことが少しでもできればと思っております。
江口 俊弘	中央地域	男	65	農業	S59.8～H14.5 H4.5～ H17.3 H28.4～ H28.4～ H28.6～	「ファーストフード店」草牟田にて開業 自営のかたわら就農 鹿児島鍼灸専門学校卒業 上西ノ谷小组長 鹿児島市農事事務嘱託員 鹿児島市農地利用最適化推進委員	水稻・露地野菜	自作地25 アール	これからの農業を担う若者や就農希望者等への農地のあっせんを積極的に行い、遊休農地の解消へ努めていきたいと思います。
星原 誠	伊敷地域	男	51	会社役員	H4.3 H7.4～H24.9 H26.4～ H27.2～ H29.12～ H31.1～ H7.5～ H28.6～ R2.5～R6.5 R3.12～ R5.4～ R5.5～	鹿児島県立市来農芸高等学校卒業 グリーン鹿児島農業協同組合 (株)誠晃設立 代表取締役 障害者就労センターみなよし施設長 認定農業者 一般社団法人街のふくろう代表理事 鹿児島市消防団比志島分団分団長 鹿児島市農地利用最適化推進委員 鹿児島県障がい者共同受注センター副会長 野下開拓パイロット事業組合組合長 中山野下地区樹園地保全協議会会長 鹿児島県農業法人協会理事	水稻・露地野菜・果樹・菌床 しいたけ	借入地 1000アール	農業者の高齢化や農地の荒廃化、担い手不足など課題は山積していますが、現在取り組んでいる個別訪問による聞き取り調査や幹旋、貸借の掘り起こしを積極的に取り組みたいと考えます。
道元 安則	桜島地域	男	69	農業	S49.3 H17.4～ H14.4～ H20.4～ H24.3～ H24.4～ H24.4～R5.3 R1.5～ R5.4～	鹿児島商工高等学校卒業 就農 鹿児島市消防団湯之分団団員 鹿児島市農事事務嘱託員 東桜島町園芸組合長 鹿児島市野菜振興連絡協議会役員 東桜島町内会副会長及び中原地区長 鹿児島市農地利用最適化推進委員 東桜島町内会長	露地野菜・果樹	自作地15 アール	あらためて農地利用最適化推進委員として農業委員や他の推進委員と協力して農地のあっ旋や鹿児島市の農業振興のため積極的に活動して参る所存です。

農地利用最適化推進委員候補者として募集に応募した者の名簿

応募

募 集 に 応 募 す る 者									
氏 名	応募する地域	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況		応 募 理 由 ・ 抱 負
					年月日	経歴・職歴・公職歴 ・団体の役職歴	主要な 作物等	面積等	
福村 美幸	伊敷地域	女	43	農業	H12.3 H12.4～H25.3 R2.2～	学校法人津曲学園鹿児島高等学校卒業 株式会社島津興業(島津ゴルフ倶楽部) 就農	露地野菜	借入地 250アール	私が推進委員になった場合には、女性農業者が活躍できる手助けが少しでもできるように一緒に頑張りたいです。高齢化などで、耕作放棄地になるのを防ぎ、就農者や新規就農者が増えるような活動がしたいです。
諏訪田 道夫	郡山地域	男	75	農業	S55.9～ H20.9 H23.10 H22.4～H23.3 H23.4～ H25.5～ H24.4～H26.3 R2.4～ H28.5～ R1.5～	就農(兼業農家) 松下電気退職 パナソニックソリューション退職(以降、専業農家) 鹿児島市郡山土地改良区監事 鹿児島市郡山土地改良区監事(総括) 郡山東部地区樋渡用水路水利組合会計 東秀自治会長 東秀自治会長 南方まちづくり協議会事務局長 鹿児島市農地利用最適化推進委員	水稻	自作地32 アール	居住する地域の農家の(ほとんどは兼業農家である)皆様方が高齢者が多く、また、後継者も少なく、今後の農産物生産が困難になり、休耕農地も増加しつつある。今後は、新規就農者参入、荒廃農地の減少、後継者の動向が必要であるため。
津江 康太	松元地域 郡山地域	男	34	自営業	H24.3 H24.4～R2.2 H24.4～ R2.4～R4.3 R2.2～R4.11 R4.11～ R4.11～ R5.4～R7.3 R7.2～R9.1 R7.2～R8.1	桃山学院大学法学部法律学科卒業 大和ハウス工業㈱(不動産事業及びアグリcube担当) 就農 今村学園ライセンスアカデミー調理師科2年コース ㈱久保工務店(企画経営室及び農地・山林管理) 料理研究家及び不動産事業で地域問題・フードロスへ貢献 料理集団HYTTNK代表 (鹿児島市食育推進ネットワーク所属) 鹿児島市食育推進委員会委員 鹿児島市交通事業経営審議会委員 内閣府食品安全委員会食品モニター委員	水稻、露地野菜、果樹		松元・郡山地域の農業は、豊かな自然と歴史に支えられた貴重な資源です。しかし、高齢化や耕作放棄地の増加、新規就農者の減少など、多くの課題を抱えています。私はこの地域の農地を最大限に活用し、持続可能な農業の未来を築くため、推進委員として全力を尽くします。 具体的には、耕作放棄地の再生、新規就農者の支援、スマート農業の導入、地域ブランドの確立といった取り組みを積極的に推進し、農業の新しい可能性を切り開きます。また、行政やJA、地元企業との連携を強化し、農業者が安心して経営できる環境を整えることも重要な使命だと考えています。 「農地は地域の財産」という意識を持ち、次世代に誇れる豊かな農業の姿を実現するため、現場の声に耳を傾けながら、実行力をもって取り組んでいきます。